

新垣勉先生のメッセージによるロングチャペル

9月3日（水）のロングチャペルは、テノール歌手で牧師でもある新垣勉先生に奨励をしていただきました。

「今日はみなさん、朝はご飯を食べてきましたか？パンを食べてきましたか？」と先生の元気な声でメッセージは始まりました。そして、私たちが目に見える「食物」を口にして、体が元気になるように、神様がイエス様を通して与えてくださった愛によって、私たちが元気に生きていくことができることを語ってくださいました。

「生後すぐに不慮の事故で失明し、物心ついたことにはアメリカ軍人だったお父さんは帰国し、お母さんは再婚なさって家を出て、おばあさんに育てられました。困難の中で死をを考えるとさえありました。ラジオから流れてきた讃美歌を聞いて、教会に行き、そこで自分の生い立ちについて話しました。『僕はアメリカに行って父を見つけて殺してやりたい』と言うと牧師先生は何も言わず、じっと話を聞いてくれました。その牧師先生は『殺すなんて言うてはいけない』とか『お父さんを許してあげなさい』とは言わず、ただ16歳だった私の話をじっと聞いてくれて、涙を流されました。この牧師の優しさや愛はどこから来るのだろうかと考えました。それは聖書に書かれた神様の愛、独り子を私たちに遣わすほどの愛だったんです。」とご自身について話してくださいました。そして、生徒たちに「この神様の愛に、イエス様の愛に励まされて、歩んでいってください」と力強いメッセージを下さいました。



生徒たちは真剣に先生のメッセージを聞いていましたが、特に中学3年生は熱心に聞いていました。活水中学で使用している中学2年生の英語教科書 **New Horizon** には新垣先生の半生について書かれた文章 **Try to Be the Only One** が掲載されています。昨年学習をして新垣先生について知っていた中学3年生の生徒たちにとって、先生のお話を直接聞くことができたことはとてもうれしかったようです。